

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績		
1. 総 括	本町の水道は、士幌簡水（本町、中士幌、中央）、新田簡水（新田、西士幌）、朝陽簡水（朝陽、西堀田、下居辺）の3つの簡易水道で町内全域を給水しており、住民生活や社会活動に直結したライフラインとして重要な役割を果たしている。		
	施設の整備については、水道施設の改修計画に基づき、現在は、士幌町簡易水道事業を行い施設・設備及び管路の更新を図っている。		
	経営の状況は、歳入総額349,247千円、歳出総額は311,346千円で差引37,901千円を翌年度に繰り越すことになった。		
	歳入の内訳は、料金収入168,101千円、一般会計繰入金53,220千円、起債70,000千円、その他収入57,926千円となり、料金収入は538千円、水道事業債は290,000千円の減額となった。		
	歳出の内訳は、水道経営費93,193千円、水道事業費189,094千円、公債費29,059千円となり、水道経営費は2,967千円、水道事業費は、339,531千円の減額となった。		
	使用料の徴収状況は、督促に出向くなど完納に努めたが、収入未済額として過年度分334件9,773,920円、現年度分45件469,720円となった。今後は、施設管理に万全を期し安定した給水を図るとともに、一般会計からの繰入金に依存しない効率的な経営に努める。		
2. 水道経営費	良質で豊富な水道水を供給するため維持管理業務を実施した。		
	主な経営費		
	業 務 名	概 要	決算額（千円）
	漏 水 調 査	西士幌、西堀田 委託	1,998
	機械計装設備点検	町内全施設 委託	1,539
	施設管路の修理	管路漏水修理6件、施設修理12件ほか	13,910
	メーター器更新	428件 請負	5,130
	計		22,577
※水道経営費の財源は、水道料金となっている。			
3. 水道事業費	老朽化した施設や管路を整備するため水道事業を実施した。		
	主な事業費		
	事 業 名	概 要	決算額（千円）
	簡 易 水 道 事 業	配水管接続工事	15,444
	単 独 水 道 事 業	調査費など（2本）	2,745
		移設工事（2本）	5,443
		施設工事	18,220
	負 担 金 事 業	道営士幌地区に伴う負担金	100,898
		水道事業償還負担金	46,344
	計		189,094
	事業費の財源内訳		
	補 償 費	～ 5,443千円	（ 2.9%）
	そ の 他	～ 113,651千円	（60.1%）
	起 債（当年度）	～ 70,000千円	（37.0%）
計	189,094千円		

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績				
4. 公 債 費	前年度未償還残高 1, 0 1 9, 6 2 9千円 本年度事業債発行額 7 0, 0 0 0千円 本年度償還金額 2 0, 0 6 1千円 本年度末未償還残高 1, 0 6 9, 5 6 8千円				
5. 使用水量 及 び 普及率など	() 前年度				
	項目・地区名	士幌簡水	新田簡水	朝陽簡水	計
	(m³)	(607, 259)	(661, 680)	(645, 749)	(1, 914, 688)
	年間総配水量	599, 504	640, 170	637, 439	1, 877, 113
	(m³)	(532, 471)	(532, 093)	(565, 162)	(1, 629, 726)
	年間有収水量	526, 133	539, 119	554, 588	1, 619, 840
	(%)	(87. 7)	(80. 4)	(87. 5)	(85. 1)
	有 収 率	87. 8	84. 2	87. 0	86. 3
	(件)	(2, 232)	(324)	(493)	(3, 049)
	件 数	2, 243	298	501	3, 042
	(人)	(4, 426)	(597)	(1, 391)	(6, 414)
	区 域 内 人 口	4, 400	568	1, 351	6, 319
	(人)	(4, 422)	(597)	(1, 391)	(6, 410)
	給 水 人 口	4, 396	568	1, 351	6, 315
	(%)	(99. 9)	(100. 0)	(100. 0)	(99. 9)
	普 及 率	99. 9	100. 0	100. 0	99. 9